

気候危機を回避し、豊かで暮らしやすい厚木の未来を創ろう！

第3回会議：2023年8月20日

実行主体：あつぎ気候市民会議実行委員会
主催：一社）あつぎ市民発電所、厚木市
連携：一社）環境政策対話研究所
協力：公）地球環境戦略研究機関（IGES）
神奈川県環境科学センター

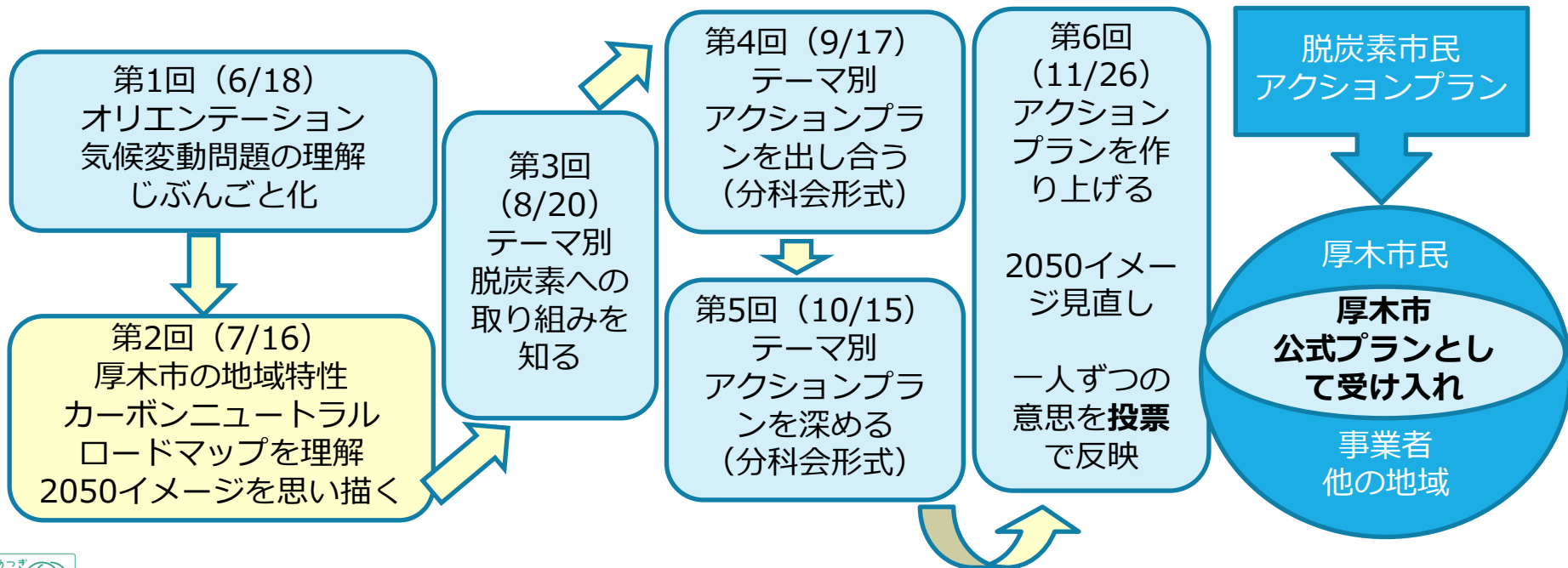
あつぎ気候市民会議



本日の内容

13:00～	開会、第2回会議振り返り アイスブレイク	
13:20～	専門家レクチャー A-1 再生可能エネルギーを創る、地産地消 A-2 移動・まちづくり	松原弘直氏：環境エネルギー政策研究所 (ISEP) 梶田佳孝氏：東海大学
14:15～	グループ討議	
14:55	休憩	
15:05～	専門家レクチャー B-1 住まい・省エネ B-2 消費・食・農・廃棄	山本佳嗣氏：東京工芸大学 村上千里氏：消費生活アドバイザー
16:00～	グループ討議	
16:40	休憩	
16:50 17:00	次回 分科会の選択について 連絡事項、アンケート 閉会	

脱炭素市民アクションプラン作成 に向けた議論の進め方提案

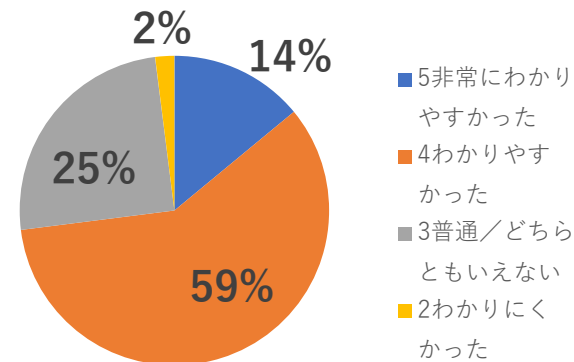
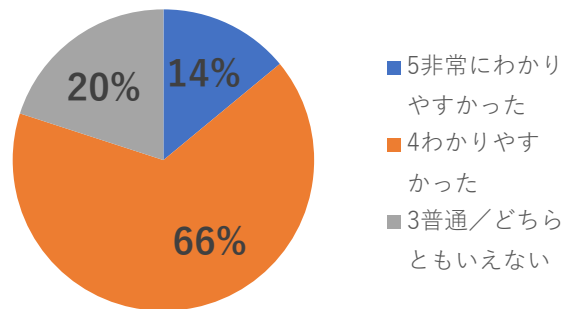
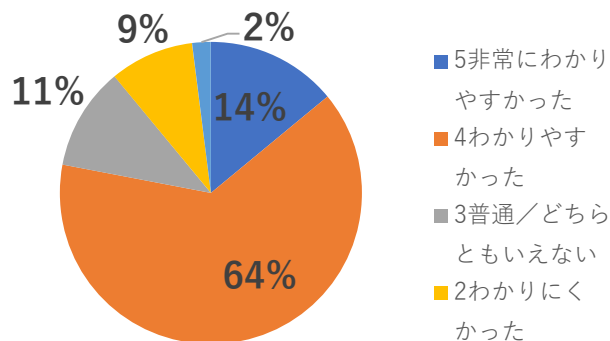


前回のふりかえり

第2回会議終了後のアンケート結果 専門家レクチャーについて

[講師への質問と回答](#)

回答数44件/参加者数44名



神奈川県（厚木周辺）における地球温暖化の影響
新井聡史氏のレクチャーは？

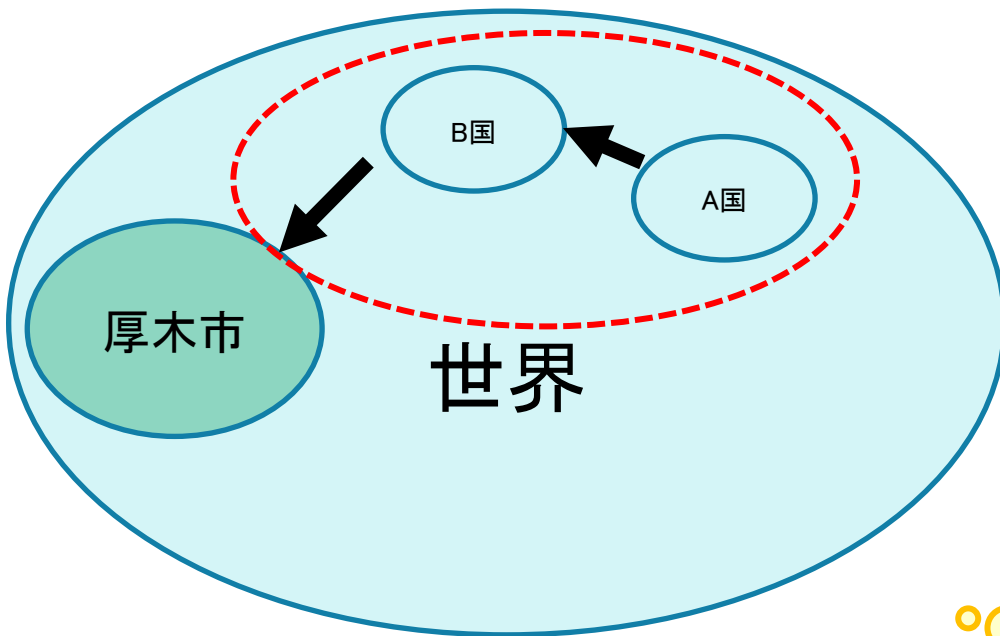
厚木市の地域特性について～コンパクト・プラスネットワーク
前場徹氏のレクチャーは？

厚木市のCN（カーボンニュートラル）施策
山崎尚裕のレクチャーは？

考える時間がもっと欲しかった

前回のふりかえり

市の施策の位置付け



あつぎ気候市民会議
厚木市CNロードマップ
実現も目指すが、これ
は最低限

カーボンフットプリン
トの削減・地球規模の
脱炭素で温暖化を止め
よう

厚木市内のCO2削減を目指しています。

(カーボンフットプリント削減の観点が少ない。)

2050目指す脱炭素
社会のイメージ

これをしっかり
思い描きながら議
論しよう

脱炭素した2050年あつぎのイメージ

楽しかった

脱炭素のイメージが難しかった

全体に共通

CO₂排出量や削減効果の見える化
エネルギー消費量に応じた課税制度
自治力の強いまち
市民の声が反映しやすい
前例のないことにも積極的に取組む
環境教育の充実 電子教科書

活気のあるまちづくり

森林・緑、水辺、農地
生態系（里地・里山・里川）
自然の中で遊ぶ エコツーリズム

コンパクトシティ コミュニティー活性化
歩いてくらせるまち 暑さ対策ミストシャワー

モビリティ 化石燃料の車は使わない
EV、カーシェアリング、渋滞がない
新交通システム 自動運転、小型オンデマンド乗り合いシステム、路面電車、チューブ型新幹線
車以外 自転車専用道、キックボード、セグウェイ

MaaS 人が移動せずにサービスを受けられる
医療、介護、買い物、食事作りロボット、
ドローンで配達

脱炭素した2050年あつぎのイメージ

再生可能エネルギー

至る所で
自然を破壊しない

道路、ガードレール、歩道屋根
全公共施設でソーラー、風力発電
農地でソーラー発電
壁に貼るソーラー
市が再エネ会社を
人の動きからエネルギー
集中豪雨のエネルギー

絵に描けると
いいなあ

ライフスタイル

価値観の転換

ライフスタイル

大量生産・大量消費・大量廃棄からの転換

マイクロプラスチック、化学物質による健康被害のない暮らし
昼夜逆転（暑さ対策？）

地下のまち

テレワーク

農業（食料自給率向上、後継者問題の解決）

スマート農業、AI・ロボット化

工場で農業生産

食品はサプリメントで栄養を摂る

昔ながらの農業への回帰

ごみ削減・リサイクル率向上

分別の自動化・AI化

ゼロ・ウェイスト 人がルールを理解し守る

ルール違反できない仕組み

医療廃棄物削減にAI活用

前回のふりかえり

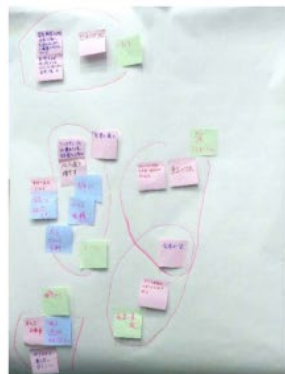
模造紙一覽



Aグループ



Bグループ



Cグループ



Dグループ



Eグループ

第2回会議 (2023.7.16)

ワーク2 2050年厚木市のイメージを描く



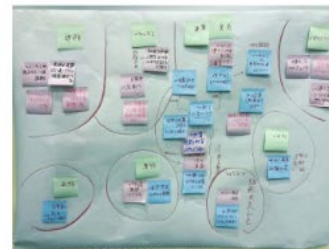
Iグループ



Fグループ

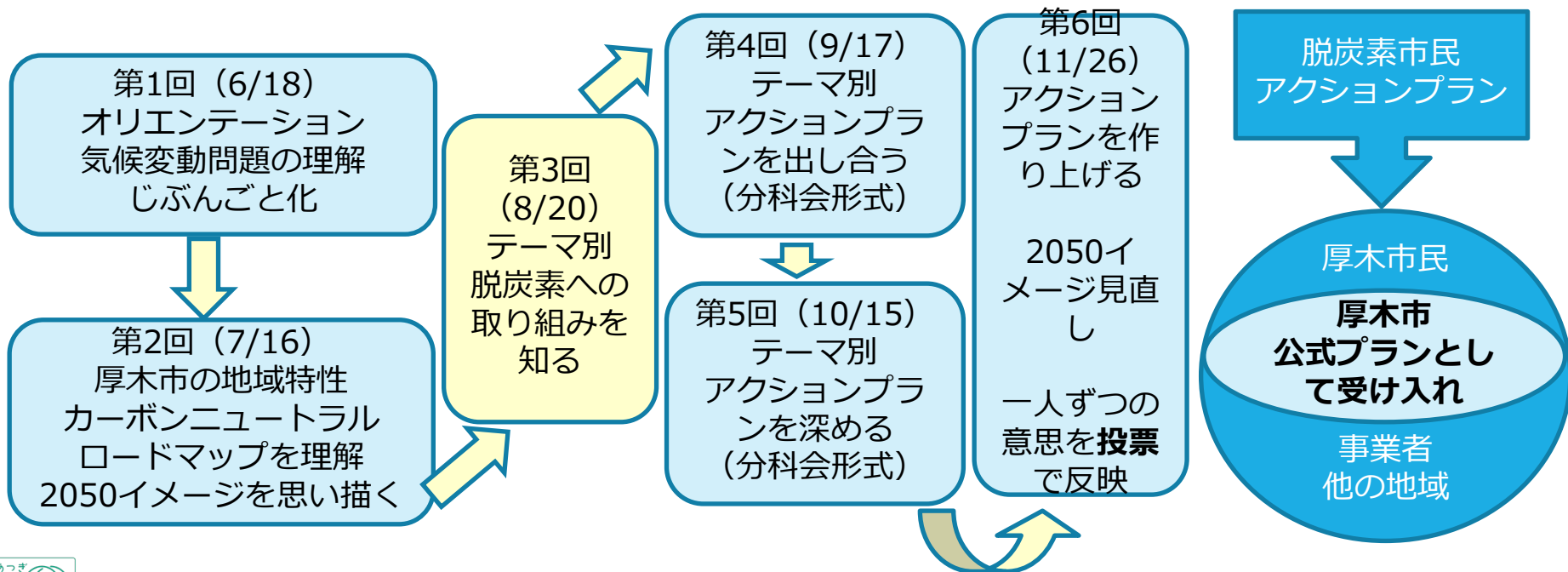


Gグループ

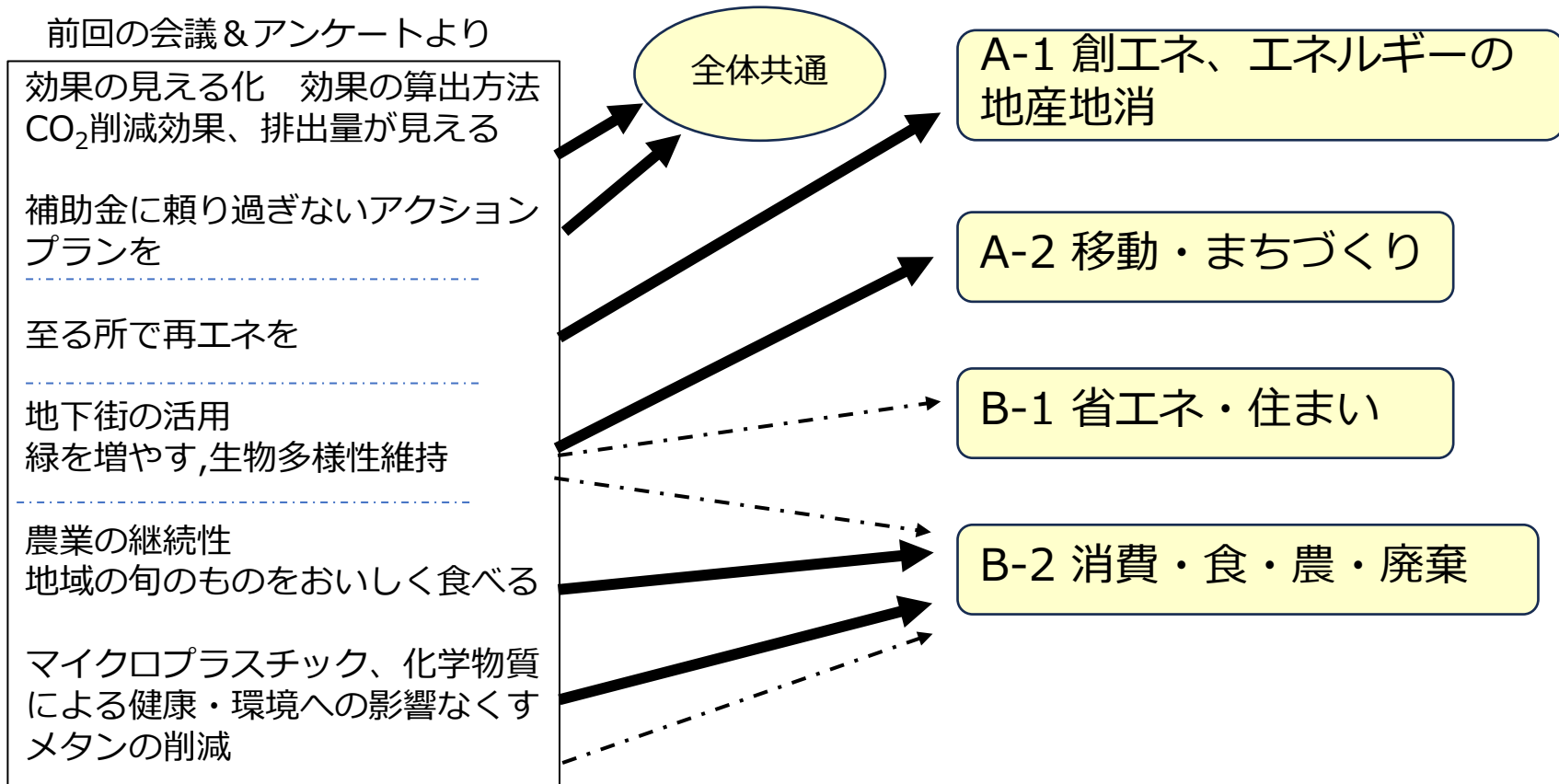


Hグループ

脱炭素市民アクションプラン作成 に向けた議論の進め方提案



脱炭素社会をつくるための討議テーマ



脱炭素アクションプランをつくる考え方

目指す2050年のイメージ

こんな世界で暮らしていきたい、こんな社会を子供たちに渡したい

「バックキャストिंग」

2050年に目指すことを実現するために どうやって到達するか
実現したい課題…困難と思われる場合…「なぜできないか」を繰り返し深める

市民の目線で

生活者、労働者、事業経営者、教育者、子育て者、こども、介護者、介護される者

2050年の市長になったつもりで

公平であること だれひとり取り残さない

関心のない人も無意識に脱炭素ライフスタイルが選べること
地域内で循環 エネルギー、食糧、お金、人・雇用 ～活発なコミュニティ、教育、文化

それが「脱炭素社会」につながる明日からの取り組み

本日の内容とゴール

本日の内容

脱炭素社会をどうやって作っていくか

A-1 創エネ
エネルギーの地産地消

A-2 移動・まちづくり

B-1 省エネ・住まい

B-2 消費・食・農・廃棄

- 各テーマごとの専門家によるレクチャー
- テーマAについてのグループ討議
- テーマBについてのグループ討議

本日のゴール

脱炭素化に向けた基本的知識や対策を理解し、考えをさらに深めよう。アクションプランづくりへのベースをかため、種になるアイデアを出そう。次回以降テーマ（A or B）を選択しよう。

アイスブレイク

前回のグループワーク②の振り返り

脱炭素化した2050年の厚木市のイメージについて、どんな意見やアイデアが出ていたか、グループの議論を振り返りましょう。

13:18まで

専門家レクチャー①

テーマ A-1

再生可能エネルギーを創る、地産地消

持続可能な創エネ
自然エネルギーへの転換を考える
松原弘直 氏

特定非営利活動法人 環境エネルギー政策研究所

事前配信資料

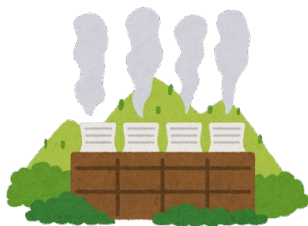
[レクチャー1 持続可能な
創エネ 自然エネルギーへ
の転換を考える](#)

当日資料

太陽光発電のギモン解決！
よくある質問15選

ポイント

- 再生可能エネルギーを導入するメリット
- 再生可能エネルギーの種類
- 再エネを導入する道のり（誰が、どの種類を、どのように）
- 再エネのコスト



専門家レクチャー②

テーマ A-2 移動・まちづくり

梶田佳孝 氏

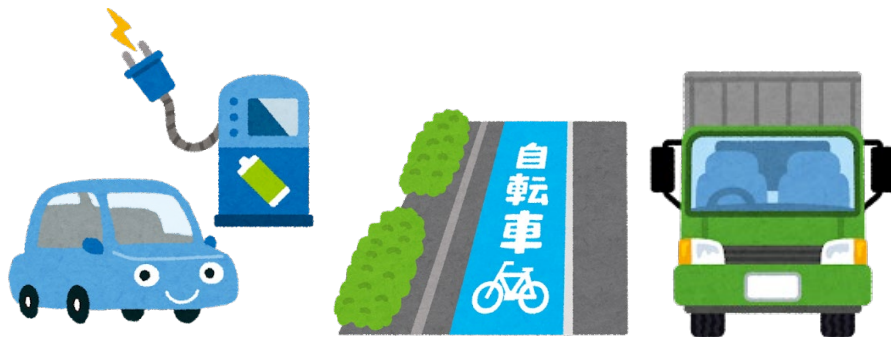
東海大学建築都市学部土木工学科 教授
厚木市都市計画審議会の会長を務めるとともに
県央地域のまちづくりの事情にも精通

事前配信資料

[レクチャー2 移動、まち
づくり](#)

ポイント

- ・ 移動に関わるCO2排出量
- ・ EVなど次世代自動車の普及
- ・ 公共交通サービスの利用
- ・ 移動しやすいまちづくり
- ・ 物流の効率化



グループ討議①

- 興味をもったこと、重要だと思ったこと、アクションプランに取り入れたいことを、付せん（ピンク）に書き出してください。〔5分〕
- 付せんを出し合い、似たコメントをまとめていきましょう。話し合いの中で新たに出てきたアイデアも付せん（黄色）に書いて追加してください。〔20分〕
- 出てきたアイデアの中で、実現したいけれど課題になりそうなことがあれば、付せん（青色）に書いて追加してください。〔15分〕

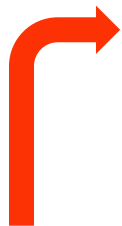
アイデアがたくさん出てくればOKです！

14:55まで

話し合いのルール

- 自分の正直(率直)な意見をお話してください。遠慮なく発言しましょう。
- 他の参加者が嫌(不快)な気持ちになる発言や行動は控えましょう。
- 他の参加者が発言している時は、遮らずに最後まで聞くように努めましょう。
- 分からない事に関しては素直に質問しましょう。
- 議論すべき話題に集中しましょう。
- なるべくみなさんが発言の時間を持てるように、意見は手短かに述べましょう。
- 話し合いを通してお互いの考えや意見の変化を受け入れましょう。
- 気分が優れなくなった場合など、無理せず離席しましょう。

15:05 までに席に
お戻りください。



**他のグループ
の模造紙を見て
みましょう！**

お手洗いは
エレベーターホール
にあります。
5Fにもございます。

休憩

このあとのプログラム

- | | |
|--------|--|
| 15:05～ | 専門家レクチャー
B-1 住まい・省エネ
B-2 消費・食・農・廃棄 |
| 16:00～ | グループ討議 |
| 16:40 | 休憩 |
| 16:50 | 次回 分科会の選択について |
| 17:00 | 連絡事項、アンケート 閉会 |

専門家レクチャー③

テーマ B-1 住まい・省エネ

山本佳嗣 氏

東京工芸大学 工学部工学科建築コース
建築環境計画研究室 准教授

事前配信資料

[レクチャー3_B-1_住まい・
省エネ](#)

ポイント

- 家庭部門のCO2排出量
- ZEH（ゼッチ）とは
- 住宅等の省エネ
- 住宅での創エネ



テーマ B-2

消費・食・農・廃棄

村上千里 氏

公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 理事

「脱炭素かわさき市民会議」「かながわ気候市民会議 逗子・葉山」「気候市民会議つくば」など各地の気候市民会議に関わっている。

事前配信資料

[レクチャー4 B-2 消費・食農・廃棄](#)

ポイント

- ・ 食や消費財のカーボンフットプリントは？
- ・ 「食」の脱炭素化
- ・ 「衣服」の脱炭素化
- ・ 「プラスチック」の脱炭素化
- ・ エシカル消費



グループ討議②

- 興味をもったこと、重要だと思ったこと、アクションプランに取り入れたいことを、付せん（ピンク）に書き出してください。 [5分]
- 付せんを出し合い、似たコメントをまとめていきましょう。話し合いの中で新たに出てきたアイデアも付せん（黄色）に書いて追加してください。 [20分]
- 出てきたアイデアの中で、実現したいけれど課題になりそうなことがあれば、付せん（青色）に書いて追加してください。 [15分]

アイデアがたくさん出てくればOKです！

16:40まで

16:50 までに席に
お戻りください。

休憩



**他のグループ
の模造紙を見て
みましょう！**

お手洗いは
エレベーターホール
にございます。
5Fにもございます。

このあとのプログラム

16:50	次回 分科会の選択について
17:00	連絡事項、アンケート 閉会

次回分科会の選択について

A分科会、B分科会の希望を出してください

A希望	どちらかといえば A	どちらでも よい	どちらかといえば B	B希望
-----	---------------	-------------	---------------	-----

	A 情報提供	B 情報提供
1	あつぎ市民発電所 地域新電力・たんたんエナジー 小田原市（脱炭素先行地域）	エコ窓普及促進会 建築家・コムアソシエイツ 太陽熱利用・青砥氏
2	日産テクニカルセンター MaaS事業者Monet Technologies(株) 神奈川中央交通	京都大学・浅利美鈴氏 不耕起栽培・八一農園 厚木市環境事業課（廃棄物・食品ロス）

4回目以降の流れ（予定）

第4回：アクションプランを出し合う ⇒一次案 / 第5回：深める ⇒二次案（事前投票）
/ 第6回：全体会 全体共有・確定+実施優先度の投票

次回に向けてのご連絡

9月17日（日） 13:00～17:00 アミューあつぎ7F M1,M2
受付：7Fエレベーター前（アミュースタジオ前）にお越しく下さい。

アンケート

Googleフォームまたは用紙で：8月21日（月）**〆切**

※次回分科会の希望についてヒアリングあり

※全員回答必須 <https://forms.gle/xHsoQrXA7kL7jpHB7>

※本日ご欠席の方へは別途ご連絡予定



会議録など公開

会議終了後1週間を目安にホームページにて

次回の出欠確認

9月2日（土）頃に「あつぎ気候市民会議レター」にて

名札

テーブルに置いてお帰りください。

託児サービス

次回利用予定の方は、お帰りの際に受付で申し込み

※託児室は5Fの和室になります。

お疲れさまでした。

あつぎ気候市民会議

